

作成日 2009

改訂日 2012

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	ELISA Lysis Buffer (1X)
製品コード	7018
整理番号	S007
会社名	CSTジャパン株式会社
住所	東京都千代田区内神田1-6-10 笠原ビル
電話番号	03-3295-1630
FAX番号	03-3295-1633
推奨用途及び使用上の制限	ライフサイエンス研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理的・化学的危険性	引火性液体 区分外 自然発火性液体 区分外 水反応可燃性化学品 区分外
健康に対する有害性	酸化性液体 区分外 急性毒性(経口) 区分3 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分3 呼吸器感作性 区分1 皮膚感作性 区分1 生殖毒性 区分外
環境に対する有害性	上記で記載がない危険有害性は、分類されない。

GHSラベル要素
シンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	飲み込むと有害 強い眼刺激 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又 こすおそれ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

注意書き
安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで
と。
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避ける。
保護眼鏡、保護面を着用すること。
換気が十分でない場合には、呼吸用保
こと。
保護手袋を着用すること。
指定された個人用保護具を使用するこ
取扱い後はよく眼を洗うこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫

救急措置
汚染された作業衣は作業場から出さな
吸入した場合、呼吸が困難な場合には
場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼
眼に入った場合、水で数分間注意深く
ンタクトレンズを着用していて容易に外
こと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合、医師の診断、手
と。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医
てを受けること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師
けること。
飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医
と。
呼吸に関する症状が出た場合には、医
と。
口をすすぐこと。
汚染された衣類を再使用する場合には

保管
廃棄
施錠して保管すること。
内容物、容器を都道府県知事の許可を
棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
ポリオキシエチレンオクチル フェニルエーテル	1.00%	C8H17C6H 4- [OCH2CH2	(7)-172	
フッ化ナトリウム	<0.11%	NaF	(1)-332	2-(9)-487

分類に寄与する不純物及び
安定化添加物

化学物質排出把握管理促進
法 (PRTR法)

	改正前(2009年9月30日まで)	改正後(2009年10
第1種指定化学物質 (法第2条第2項、施行 令第1条別表第1)	ポリ(オキ シエチレン) =オクチル フェニル エーテル (政令番 号:308) (1.00%)	第1種指定化学物質(法 第2条第2項、施行令第 1条別表第1)

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移重 い姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	医師の手当、診断を受けること。 皮膚を速やかに洗浄すること。 多量の水と石鹼で洗うこと。
眼に入った場合	医師の手当、診断を受けること。 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コ 用して容易に外せる場合は外すこ を続けること。
飲み込んだ場合	医師の手当、診断を受けること。 直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと。
5. 火災時の措置	
消火剤	周辺火災に種類に応じて適切な消火剤 この製品自体は、燃焼しない。
特有の危険有害性	加熱により容器が爆発するおそれがあ 火災によって刺激性、腐食性及び/又 生するおそれがある。
特有の消火方法	周辺火災の場合、移動可能な容器は 場所に移す。 火災の種類に応じて適切な消火剤を 消火後も、大量の水を用いて十分に容
消火を行う者の保護	消火作業の際は、空気呼吸器、化学 る。 空気供給式呼吸器及び全面保護ギヤ
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護 具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏 する。 関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具(8. ばく露防止 措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚へ 避ける。 適切な防護衣を着けていないときは破 は漏洩物に触れてはいけない。 風上に留まる。 低地から離れる。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こ する。 環境中に放出してはならない。
回収、中和	少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で 覆って密閉できる空容器に回収する。 る。
封じ込め及び浄化の方法・機 材	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で チックシートで飛散を防止し、雨に濡ら 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖 防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載い、保護具を着用する。
	局所排気・全体換気	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載体換気を行う。
保管	安全取扱い注意事項	使用前に使用説明書を入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで。接触、吸入又は飲み込まないこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫
	接触回避 技術的対策	取扱い後はよく手を洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さな『10. 安定性及び反応性』を参照。保管場所には危険物を貯蔵し、又は取
	混触危険物質 保管条件	必要な採光、照明及び換気の設備を設け『10. 安定性及び反応性』を参照。酸化剤から離して保管する。施錠して保管すること。
	容器包装材料	包装、容器の規制はないが密閉式の物入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学値)	
		日本産衛学会 (2008年版)	A (20
ポリオキシエチレンオクチル フェニルエーテル	未設定	未設定	未設定
フッ化ナトリウム	未設定	未設定	TWA 0.409 p

設備対策		本製品を貯蔵ないし取扱う作業場にはシャワーを設置すること。空気中の濃度を制御するには、一般適ある。
保護具	呼吸器の保護具	換気が不十分な場合には、呼吸器保護と。必要に応じて個人用呼吸器保護具を備
	手の保護具 眼の保護具	保護手袋を着用すること。眼の保護具を着用すること。保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通ル型)
	皮膚及び身体の保護 具	顔面用の保護具を着用すること。必要に応じて個人用の保護衣、保護面
衛生対策		この製品を使用する時に、飲食又は喫 取扱い後はよく手を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さな

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	形状	液体
	色	無色
	臭い	無臭
	pH	データなし
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		不燃性
燃焼性又は爆発範囲		不燃性
蒸気圧		データなし
蒸気密度(空気=1)		データなし
比重(密度)		データなし
溶解度		水に可溶
オクタノール／水分配係数		データなし
自然発火温度		不燃性
分解温度		データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		データなし
燃焼性(固体、ガス)		該当しない
粘度		データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の保管および取扱いの条件にお る。
危険有害反応可能性	危険な重合反応は起こらない。
避けるべき条件	熱。
混触危険物質	強酸化剤、強還元剤。
危険有害な分解生成物	知見なし

11. 有害性情報

急性毒性	経口 経皮 吸入(蒸気) 吸入(ミスト)	フッ化ナトリウムが区分3のため区分3、 データ不足のため分類できないとした。 データ不足のため分類できないとした。 データ不足のため分類できないとした。
皮膚腐食性／刺激性 眼に対する重篤な損傷／刺 激性		フッ化ナトリウムが区分1Aのため区分 フッ化ナトリウムが区分1、ポリオキシエ フェニルエーテルが区分2Aだが、成分 以上のため区分2Aとした。
呼吸器感作性		ポリオキシエチレンオクチルフェニルエ あり、濃度限界(1.0%)以上のため区分1
皮膚感作性		ポリオキシエチレンオクチルフェニルエ ジアミン四酢酸二ナトリウム塩が区分1 (1.0%)以上のため区分1とした。
生殖細胞変異原性		フッ化ナトリウムが区分2だが濃度が1% 外とした。
発がん性 生殖毒性		データがなく分類できない ポリオキシエチレンオクチルフェニルエ トリウムが区分2であり、濃度限界(0.1% 毒性－区分2とした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データ不足のため分類できないとした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データがなく分類できない
吸引性呼吸器有害性		データがなく分類できない

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性
水生環境慢性有害性

データがなく分類できない。
データがなく分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方
従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産
者、もしくは地方公共団体がその処理
にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業
有害性を充分告知の上処理を委託す
本製品を含む廃液及び洗浄排水を直
たり、そのまま埋め立てたり投棄するこ

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、
地方自治体の基準に従って適切な処分
空容器を廃棄する場合は、内容物を完
と。

14. 輸送上の注意

国際規則

海上規制情報

非危険物

国内規制

航空規制情報

非危険物

陸上規制

非該当

海上規制情報

非危険物

航空規制情報

非危険物

特別の安全対策

輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等
かめる。
輸送に際しては、直射日光を避け、容
漏れを生じないように積み込み、荷崩
行う。
重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

15. 適用法令

化審法

第3種監視化学物質(法第2条第6項)
3, 3, -テトラメチルブチル)フェニル]
ポリ(オキシエチレン)(別名ポリ(オキ
チルフェニルエーテル))

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物
2、施行令第18条の2別表第9)(フッ化
第1種指定化学物質(法第2条第2項、
表第1)(ポリ(オキシエチレン)=オクテ
テル)

化学物質排出把握管理促進
法(PRTR法)

16. その他の情報

連絡先

CSTジャパン株式会社

参考文献

NITE GHS分類公表データ

EU CLP Regulation, AnnexVI
CHEMWATCH社 GHS-MSDS
RTECS(2008)

Cell Signaling Technology 製品MSDS
記載内容は、一般に入手可能な情報
に基づいて作成しておりますが、現時点
技術に関する全ての情報が検討されて
りませんので、いかなる保証をなすもの
もありません。又、注意事項は、通常
の取り扱いであります。特殊な取り扱
いの場合には、別途お問い合わせを
お願いいたします。

2023年09月29日
2023年04月02日

ビルディング10階

1A

対象外か分類で

は呼吸困難を起

の疑い

で扱わないこ

こと。

保護具を着用する

と。

煙をしないこと。

いこと。

、空気の新鮮な
させること。

で洗うこと。

洗うこと。次に、コ
せる場合は外す

当てを受けるこ

師の診断、手当

の手当、診断を受

師に連絡するこ

師に連絡するこ

洗濯すること。

受けた専門の廃

CAS番号
9002-93-1
7681-49-4

月1日から)

ポリ(オキシエチ
レン) = オクチル
フェニルエーテ
ル(政令番号:
408)(1.00%)

加し、呼吸しやす

ンタクトレンズを着
と。その後も洗浄

用を用いる。

る。
は毒性のガスを発

速やかに安全な

孔いる。
器を冷却する。

保護衣を着用す

一を着用する。

洩区域として隔離

措置及び保護
の接触や吸入を

損した容器あるい

さないように注意

吸収し、あるいは
後で廃棄処理す

覆い更にプラス
さない。
場所への流入を

の設備対策を行

の局所排気、全

で取扱わないこ

煙をしないこと。

いこと。

り扱うために必
ける。

破損しないものに

内ばく露指標)
CGIH 09年版)
ppm

洗眼器と安全

正換気で十分で

隻具を着用するこ

用すること。

眼鏡型、ゴーグ

を使用すること。

煙をしないこと。

いこと。

いては安定であ

とした。

1Aとした。
ニチレンオクチル
濃度の合計が1%

ーテルが区分1で
とした。
ーテル、エチレン
であり、濃度限界

%未満のため区分

ーテル、フッ化ナ
i)以上のため生殖

自治体の基準に

廃棄物処理業
を行っている場合

者等に危険性、
る。
河川等に排出し
ことは避ける。

連法規並びに地
を行う。
全に除去するこ

のないことを確

器の破損、腐食、
の防止を確実に

(α - [(1, 1,
- ω - ヒドロキシ
ンエチレン) = オク

物(法第57条の
ナトリウム)
施行令第1条別
ルフェニルエー

及び自社情報に
おける化学又は
いるわけではあ
)ではありません
を対象としたもの
よ、この点のご配